

2024年8月号(No.16)



多気町立図書館だより

TEL:0598-38-1133 (多気図書館)

TEL:0598-49-4500 (勢和図書館)

<https://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>



最近の「地球の歩き方」は
旅行のガイドだけではないよう
です！

いろんな点に着目して、
日本・世界をご紹介！



『世界遺産の歩き方』
地球の歩き方編集部/編
学研プラス(290.9円)



『日本の虫旅』
地球の歩き方編集部/編
Gakken(291.0円)

涼しい場所で、本のとびら
を開いて旅気分はいかが
でしょうか？

図書館もタリソグ・シェル
です
ぜひ、ごゆっくりお過ごし
ください！

多気図書館

8月のカレンダー

□：休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会 10:30~				1	2	3 おはなし会
4	5	6	7	8	9 おはなし おもちや	10 おはなし
11	12	13	14	15	16 赤ちゃん おはなし 会	17
18	19	20	21	22	23	24 おはなし ほけっと
25	26	27	28	29	30 整理日	31

勢和図書館

8月のカレンダー

□：休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会 10:30~				1	2	3
4 ほんと カフェ	5	6	7 おはなし会 (0歳)	8	9 夏休み ブックオフ	10 おはなし会
11 勢和中吹部 サマソング	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21 おはなし会 (1~3歳)	22	23	24 おはなし会
25	26	27	28	29 音読講座	30 整理日	31

ブックスタート (おひさま) 8/23 (金) 10:00~

~ イベント 紹介 ~

- ・ほんととカフェ&夏のおたのみ
8月4日(日) コラボ：チムニーサンドさん
- ・夏休みブッククラブ(要予約)
8月9日(金) 13:30~
今年は『大どろぼうホッツェンブロッツ』
を読みます！
- ・音読講座~健康寿命、延ばします！
(要予約) 8月29日(木) 10:00~

※各イベント詳細はチラシにて

FB・Insta→「多気町立勢和図書館」

か「seiwallib」で検索



勢和:FB



勢和:IG

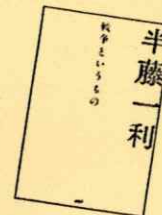
~コーナー紹介~

・夏休みのおともに



長い夏のお休みに、
ぜひ読んでもらいたい！
読書感想文や自由研究、
工作の参考にも！

8月のおすすめ本



『戦争というもの』 半藤 一利：著 PHP 研究所 (210.7円)

太平洋戦争下で軍人が発した言葉や流行したスローガンなど「戦時下の名言」は、
非戦を願う私たちへの教訓とも言えます。

半藤一利さんが孫である編集者、北村淳子さんに原稿を託し出版された本書は、
半藤さんの遺作であり、戦争を知る世代から知らない世代へと大切に受け継いでい
きたい、平和への願いが込められたメッセージです。

『彷徨える現代を省察する 科学者の世界の見方』 池内 了：著 而立書房 (304円)

無関心でいること。知らないまま流されていることの怖さ。
現代の日本が立ち向かっている大きな壁。それをいかにして回避し乗り越えるのか。
私たちが無関心を決め込んでいる間に、知らないうちに日本は大きな舵を取ろうとして
いる…。流されるままではいけない！



『25歳のみけちゃん』 村上 しいこ：著 主婦の友社 (645.7円)

人間の年齢に換算すると116歳のご長寿猫、三毛猫のみけちゃん。
猫好き児童文学作家・村上しいこさんが愛情を込めて綴った、みけちゃんと
村上ファミリーの古民家暮らしエッセイです。
みけねえちゃんが活躍する『ねこ探！』『みけねえちゃんに いうてみな』の
シリーズもおすすめです！

『北岳山小屋物語』 樋口 明雄：著 山と溪谷社 (786.1円)

山に魅入られた作者が取材した山番たち。
登山をした際、山小屋にお世話になったことはありますか？シーズン中、山小屋で
働く人たちは、登山者の身体が少しでも休めるよう日々、仕事に取り組んでいます。
それだけではなく！遭難者捜索時も出動するのです！



『アルプス席の母』 早見 和真：著 小学館 (F913.6円)

甲子園を目指す息子を持つ母目線での物語。
子どもの成長を見守る親心にグッときて、切ないだけでなくじわっと心が温か
くなります。何かに夢中になる姿はやっぱり素敵。今年も甲子園が開幕します！

『文庫旅館で待つ本は』 名取 佐和子：著 筑摩書房 (F913.6円)

風屋旅館。通称文庫旅館。温泉、おいしい料理、癒しのひと時を与えてくれる。
そんな旅館の若女将は“鼻が利く”。そのお客と同じにおいの本を選んで手渡して
くれるという。

文豪たちが残した作品が、お客の心を揺らす。

